



DEN

No.17

2015.12.16

発行

作業療法を伝える
NEWS&COMMUNICATION

公益社団法人 大分県作業療法協会 広報誌



心豊かに作業療法

CONTENTS - 特集: 依存症支援 -

- 1 教えて! 作業療法「アルコール依存症」
- 3 インタビュー: 八谷隆之氏 (医療法人 河村クリニック)
- 5 まんが作業療法物語~アルコール依存症編~
- 10 施設紹介: 医療法人社団 淡窓会 大分友愛病院
- 11 第33回全体研修会
「認知症支援の最前線へ~県内の認知症初期集中支援の今~」
- 12 作業療法一日体験
- 13 以心DEN心
- 14 活動報告



公益社団法人 大分県作業療法協会

教えて! 作業療法

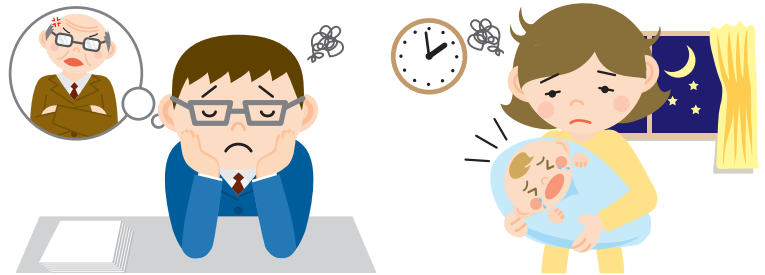
「アルコール依存症」とは？

アルコール依存症とは飲酒のコントロールができず、大量に飲んでしまう、健康問題などの原因がお酒だと分かっても飲まずにはいられない状態です。
「大切にしていた家族、仕事、趣味などよりも飲酒を優先させてしまう状態」です。

アルコール依存症の原因

以下のような原因があります。

- ・本人の遺伝情報
- ・飲酒の開始年齢
- ・気持ちの慢性的落ち込み
- ・不安定な人間関係などの心理的要因
- ・生活環境
- ・日常のストレス



依存症状

● 渴望と飲酒行動

本来、飲酒してはならないような状況でも、強い飲酒欲求を感じることを「飲酒渴望」と呼びます。アルコール依存症の患者さんは、この強い渴望にさいなまれます。

飲酒行動は「コントロール障害」と表現されます。少しのつもりで飲み始めても、長時間飲んでしまう、量をたくさん飲んでしまうなどの状態を頻繁に認めます。コントロール障害の典型は連続飲酒です。



● 離脱症状

長年、ある程度の多量飲酒を続けていた人が急に飲酒をやめると、血中のアルコール濃度が急激に低下し、体にいろいろな不具合が生じます。これを離脱症状といいます。

主な離脱症状

主な離脱症状	
軽～中等症	手の震え、発汗、心悸亢進、高血圧、嘔気、睡眠障害、不安感、うつ状態、イライラ感 など
重症	けいれん発作、幻聴、幻視 など



● 社会的問題

アルコール依存症の患者さんは、多くの家庭的・社会的問題を引き起こします。最近問題になっている常習的な飲酒運転者の多くは、多量飲酒者かアルコール依存症の患者さんです。またアルコールは、自殺、事故、家庭内暴力、虐待、家庭崩壊、職場における欠勤、失職、借金など多くの社会問題に関係しています。



治療法

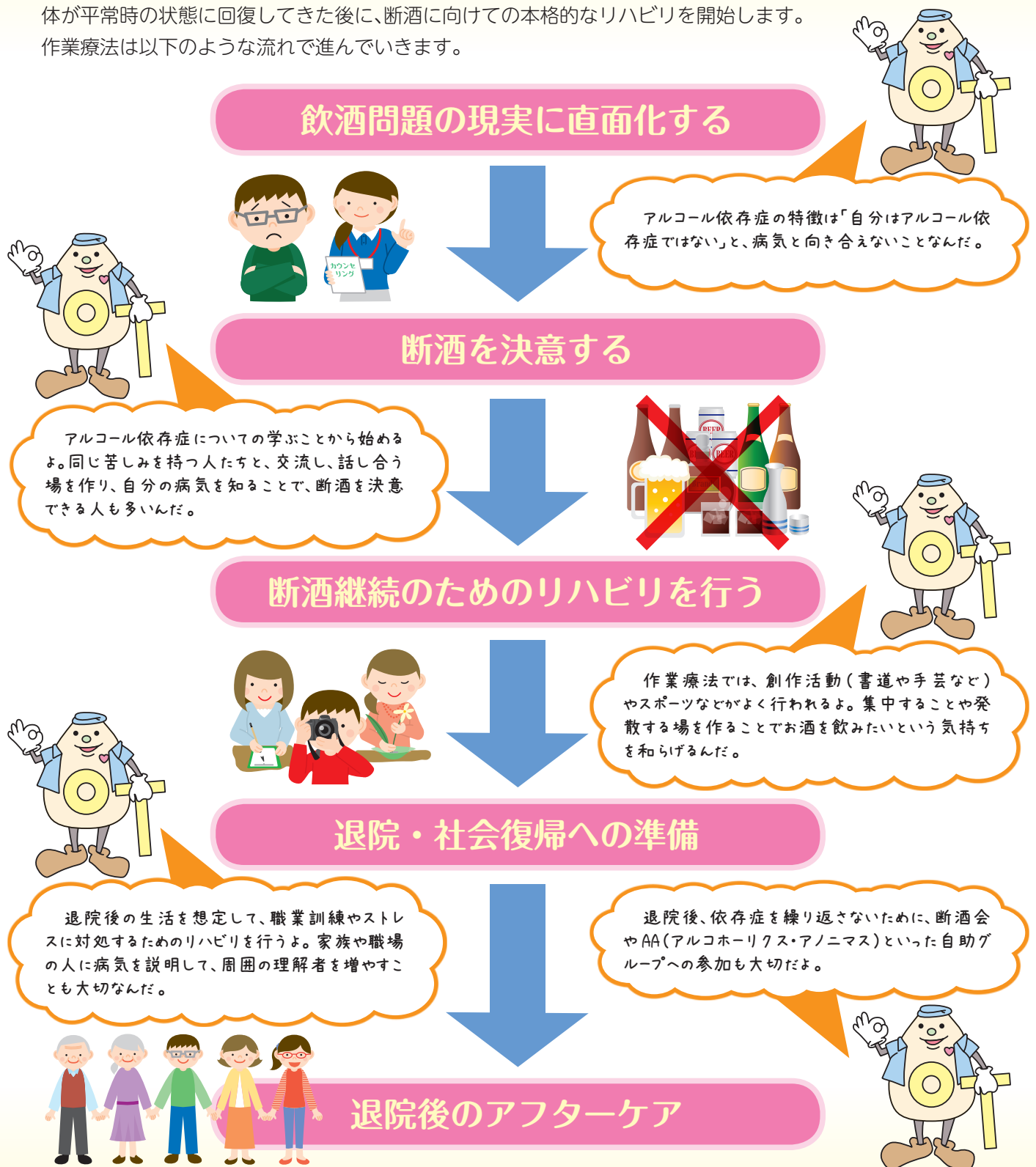
●解毒治療

アルコールを完全に断ち、体を解毒します。それにより現れた離脱症状を、薬で抑える治療が中心となります。

●作業療法

体が平常時の状態に回復してきた後に、断酒に向けての本格的なリハビリを開始します。

作業療法は以下のような流れで進んでいきます。



断酒継続を支援するとともに、再飲酒した場合には速やかに必要な治療を行います。一般にアフターケアの三本柱は、「① 病院・クリニックへの通院、② 抗酒薬の服用、③ 自助グループ[※]への参加」といわれています。

※自助グループとは、同じ病気や障害を持つ人たちが互いに励ましあいながら、さまざまな課題を克服していくための活動を行う集団です。アルコール依存症の患者さんでは、断酒の継続を目的として、自己の体験を語り合うなどの活動が行われています。

アルコール依存症(患)者への支援



医療法人 河村クリニック 作業療法士 はちや たかゆき 八谷 隆之氏
Hachiya Takayuki



● アルコール依存症(患)者への支援を行っている作業療法士 八谷 隆之 氏に話を聞きました。

Q1. 作業療法士は当事者や家族の方々にどう関わっていますか？

A アルコール依存症の方が地域へ戻る際には、周りの方々の理解や協力が必要であり、まずはアルコール依存症がこういった病気であるかということを知ってもらうことが重要です。まずはアルコール依存症が病気であることを知ってもらいます。早めの受診・早めの介入が良いとされているなか、自分はアルコール依存症ではないと思う方が多く、なかなか治療に繋がっていないのが現状です。当事者の方々の多くは“死ぬほど止めたくて、死ぬほど飲みたい”そんな葛藤があるなかで、治療機関を受診したときが最大のチャンスだと思っています。その後、その方に合った治療方法で介入を開始します。最初に健康状態を確認すること、またその方を取り巻く環境(家庭・職場・友人など)や依存症に至った経緯を知ることから始めます。アルコール依存症の場合、自分の苦しさ・痛み・寂しさなどを紛らわすためにアルコールを必要とします。そこで何が原因でアルコールに頼らないといけなかったのかを知ることが大切だと考えています。



Q2. 当事者と関わるうえで大切にしていることは何ですか？

A 基本的に人に心を開くことが苦手で、一人で悩みを抱えてこられた方が多いため、当事者の不安や混乱をとくことから行っています。そのためいつでも、どんなことでも相談できるという姿勢を心がけています。また、一度断酒できたら終わりではありません。その後、再発しないように予防していくことが大切です。そのため当事者の方とは再発予防に向けた支援が長くできるように関わっていくことが大切なのです。

Q3. 地域に戻る際の支援、その後のフォローは？

A 入院期間を終え飲酒をやめることができたあと、何をしてもいいかわからず、再び飲酒を始める方が多いです。そのため、地域に戻る際には様々な方向性を提示していくことが大切です。例えば一緒にビリヤードをしたり、ボランティア活動に参加をしたり、依存症の方に、一生懸命になれる活動を伝えることが作業療法士の役割だと思っています。また、こういった場面でお酒を飲みたくなるのか？飲みたくなった時の対処法は何か？お酒を飲むことでのメリットとデメリットは何か？などの心理教育を一緒に行い、その方のパターンを知っていくことで、今できること・できないことなどを整理していきます。グループセラピー（当事者同士が話す場）の参加を勧め、自分の経験を語ることや回復した人の話を聞くことで振り返りを重ねます。その後、地域で行っている自助グループの参加へつなげていきます。

Q4. アルコール依存症について何かアドバイスはありますか？

A アルコール依存症は正しい知識をもって治療を受ければ回復する病気です。そのため、まずは早めに医療機関を受診してほしいと思います。

河村クリニックではアルコール・薬物・ギャンブル依存症の
外来治療プログラムを行っています。

「薬物依存症外来プログラム 大分SMARPP（スマープ）」

【曜日】 毎月第2・第4土曜日（祝日を除く）

【時間】 13：00～15：00（休憩あり）

【場所】 河村クリニック別館 おひさまビル2階

少人数のグループで、どうすればお酒や薬やギャンブルをやめられるのか。月2回、依存症専門のスタッフと共に、様々なワークとテキストを使いながらともに考えます。

大分SMARPPは仲間とともに回復を目指します。回復の道は一人では歩めません。医師、作業療法士、精神保健福祉士、臨床心理士、そして経験を分かち仲間があなたを支えます！

【お申込み】

（1）予約 ①医師の診察 ②スタッフとの面談を受けていただきます。

（2）参加 テキストはこちらで用意いたします。外来にて参加受付を行い会場におこしください。
SMARPP参加にはデイケア利用料（診察料込）がかかります。

その他にも、嗜癖に偏りがある方々が、主にミーティングを通じて、回復をめざすプログラムも実施しています。

詳細は河村クリニックへお問い合わせください。

PROFILE



はち や たかゆき
八谷 隆之

2012年 小倉リハビリテーション学院卒業
2012年 河村クリニック入職

勤務先

施設名：河村クリニック
所在地：大分市金池町2丁目12-8 ひこばゆビル3階
電話：097-548-5570
スタッフ：作業療法士5名



まんが

作業療法物語

～アルコール依存編～

心療内科クリニックで働く療太は、うつ病などが原因で社会参加が難しくなった方の自宅を訪問し、家事や買い物などの生活行為が再開できるよう訪問リハビリテーションを提供しています

こんにちは
大分療太

大分療太

いらっやい
いつも娘が
お世話になります

Aさんは定年退職後、うつ病を患っている娘さんを
自宅で献身的に支援している60歳代の男性です

療太は、Aさんの娘さんの訪問リハビリテーションを担当していたので、
しばしばAさん宅を訪れていました

大分涼くなって
きましたね
娘さんの様子
はいかがですか？

娘は部屋から
なかなか出てこなくてね
どうぞ上がってください

今回は、自宅周辺を
散歩してみましょう
秋を見つけに行きましょうね

そうですね
一人じゃなかなか
勇気が出なくて…

どうしたんだろう
だれがあんなにお酒を飲んでいるのだろう

次の訪問の日…

訪問リハビリに行くためずらしくAさんの出迎えがなく、
娘さんが部屋の奥からやってきました

お父さん
体の具合でも
悪いんですか？

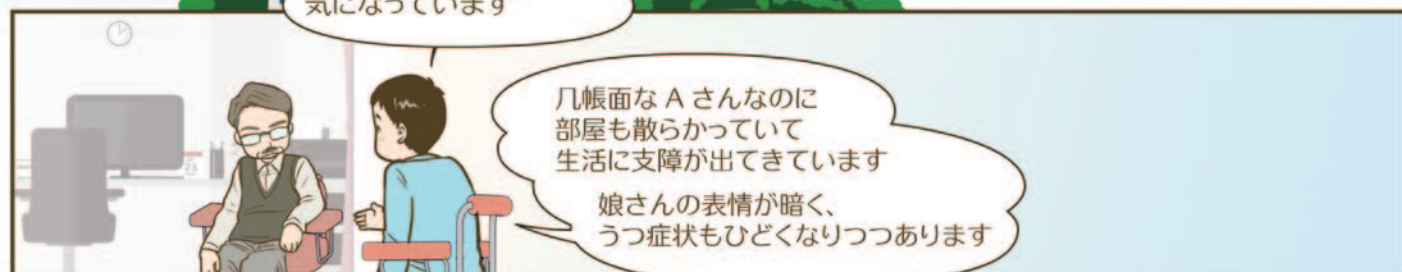
いえ、
自分の部屋で
寝てます

Aさんの娘さんが少し困った表情をしたため、それ以上は追求せず、前回予定していた散歩へ出かけました



療太は病院に戻り医師に今日のAさん親子の様子を相談しました

最近、A子さん宅の様子が気になっています

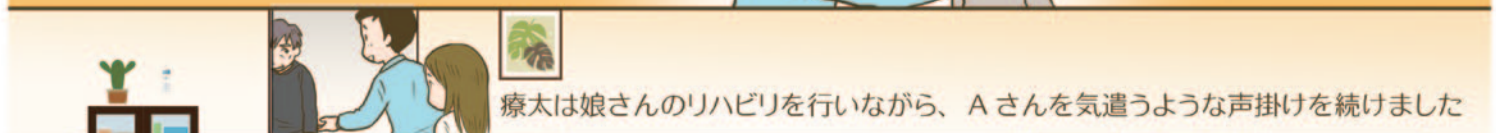


Aさん、アルコール依存症の可能性もあるかもしれませんね

Aさんも娘さんのサポートをすることができていないのではないだろうか

今度、訪問した際にAさんに話を聞いてみてはどうだろうか

医師と相談し、まずはAさんにクリニックを受診してもらうよう働きかけることになりました



アルコール依存症と向き合い改善していくためには、
「こういった状況で飲酒に頼ってしまうのかを知ること」と「目標を持つこと」が大切です

日常生活の中で就労や買い物、家事、趣味などの生活行為を高める足掛かりとして
Aさんがこういったものに興味関心があるのか、
日々の生活で何を大切だと考えているのかなどの聞き取りチェックを行っていました



Aさんの治療が始まりました



断酒会

自身のことを語り、共通の悩みを持った方の話を聴くことで、
自分とお酒の関係がはっきりと見えてきます
また、参加者同士の信頼関係が生まれ、
断酒の継続を参加者同士でサポートします

私の娘はうつ病を患っています
定年退職してからは、
必死で娘をサポートしてきました

自分の介護に対する
悩みや不安を誰にも話せず、
その辛さを紛らわすために
お酒に頼っていたことを
最近になり気がきました

Aさん…
自分のことをしっかりと
客観的にとらえることができています…

先生
さよなら～

現在Aさんは、週に1回の無理のないペースで
近所の書道教室にボランティアとして通っています

さようなら
気を付けて
帰るんだぞ

また、お酒を飲まない習慣も続いており、クリニックや断酒会にも通えています
介護ばかりの日々ではなく、社会と接点を持ち、少しずつ自分のやりがいや人生の充実感を得ているようです

今日はお先に失礼します
娘に買い物に
誘われていまして

お疲れ様
娘さんと買い物なんて、
うらやましいな

アルコール依存症者は年々増加傾向にあり、
高齢の方の割合も増えています

作業療法士は心と体に働きかけ、
本人の意欲を引き出し、
アルコールに代わる趣味や役割など

よりどころを見つけるお手伝い、
対人交流を生み出す環境設定など
多角的な方向から、
アルコール依存症の方と一緒に考え、
サポートします

おわり

医療法人社団 淡窓会 大分友愛病院

所在地：大分県日田市大字上野1番地の1
TEL 0973-23-5151

病床数：189床

- ・精神病棟……………69床
- ・精神療養病棟……………60床
- ・認知症疾患治療病棟…60床

診療科目：内科、精神科

対象疾患：アルコール依存症、認知症

職員数：126名（うち作業療法士5名）



当院は、昭和56年、県下唯一のアルコール依存症専門病院として発足し、ARP（アルコール依存症リハビリテーションプログラム）に沿った治療、さらに、学習会や自助グループ（断酒会※¹・AA※²）、家族会などの支援も行っています。その中で作業療法では、①基礎体力の維持・改善、②生活のリズムの獲得、③対人関係能力の向上、④集中力・持続力の向上、⑤余暇活動・趣味の獲得などを目的とし活動を実施しています。内容としては、体操、散歩、スポーツ、創作活動、カラオケ、映画鑑賞、さらに季節に応じて花見や秋祭りなどの行事を行っています。その中でも特に創作活動は、患者様一人一人が集中して取り組み達成感を味わうことができるよう支援しています。また、作品を通してスタッフだけでなく、周囲の方との関わりを持つよい機会にもなっています。

また、平成15年10月には認知症疾患治療病棟が加わり、OTが専従し対象者それぞれ心地よいと思う感覚や活動（例：音楽や昔の遊びなど）を選択し、提供することで、心身機能への良質な刺激の増大を図ります。集団活動の中でも個別に関わりを持ちながら活動や発話を引き出し、患者様の生活援助に携わっています。

今後も、患者様が楽しく活動に取り組み、よりよい生活が送れるよう、個別的な関わりも大切にして支援したいと考えています。

※1：断酒会…アルコール依存症から回復し、自力更生するための、相互援助団体。

※2：AA…アルコールリクス・アノニマス（Alcoholics Anonymous）…アメリカで始まった飲酒問題を解決したいと願う自助グループの集まり。



作業療法室



OTスタッフ

患者様の作品



記事担当者／三苫 美香





第33回 全体研修会

テーマ：「いざ認知症支援の最前線へ」
～県内の認知症初期集中支援の今～



- 開催日時：平成27年8月23日(日) 10:00 ～ 15:00
- 開催場所：大分県消費生活 男女共同参画プラザ アイネス
- 内 容：県内の認知症初期集中支援チームの動向および臼杵市の取り組みについて
 - ①講演「認知症の方に対する地域包括の取り組み～臼杵市の今～」
石井 義恭 氏（地域包括支援センターコスモス センター長）
 - ②講演「大分県の認知症初期集中支援チームの動向」
吉田 知可 氏（大分県福祉保健部 高齢者福祉課）
 - ③事例報告
- 参加者数：66名

大分県は全国に先駆けて認知症支援に力を入れて取り組もうとしており、特に豊後高田市や臼杵市では急速に取り組みが進んでいます。そこで今回は、昨年度に引き続き、県内の認知症初期集中支援の動向について取り上げました。

午前中は、石井義恭氏より、臼杵市での認知症初期集中支援チームの立ち上げの経緯から現在の取り組みについてお話いただき、その後、吉田知可氏より大分県の各市町村の取り組みについてお話いただきました。午後には、県内の疾患医療センターの作業療法士3名から事例や現状について報告していただきました。

今回の研修会も、多職種の方の参加もあり、質疑応答では有意義な意見交換を行うことができました。また、石井氏より、「今後、作業療法士に求めること」についてご意見をいただき、より私たち作業療法士が地域で積極的に活躍していく必要があると感じた研修でした。



地域包括支援センターコスモス
石井 義恭氏の講演



大分県福祉保健部 高齢者福祉課
吉田知可氏の講演



作業療法一日体験

＊高校生が作業療法を体験＊

今年度も7月から8月にかけて、高校生を対象とした「作業療法一日体験」を実施しました。60施設を超える病院や施設で過去最多の197名の高校生が参加しました。作業療法の実際の現場を体験し、「今回の体験に参加することができて良かった」「作業療法士の仕事内容がよくわかり、利用者一人一人に向き合える、とっても良い仕事だと思った」「今後の進路選択に役立てたい」など、さまざまな感想が聞かれ、作業療法士を目指すきっかけになったのではないかと思います。今後も、本事業に一層力を入れ、将来を担う作業療法士の育成につなげていけるよう努力していきたいと思います。



博愛診療所



明和記念病院

高校生の感想

今回の体験を通して、自分の中での作業療法士のイメージがすごく変わりました。将来は人とコミュニケーションをとりながら、患者さんと一緒に成長していける職業に就きたいと思っていますので、是非参考にさせていただきます。

高校生の感想

体験するまであまり知らなかったのですが、患者さんの笑顔が見られる作業療法士の仕事は、やりがいがあると思いました。



博愛診療所

高校生の感想

作業療法士の仕事内容がよくわかり、利用者一人一人に向き合える、とっても良い仕事だと思いました。また利用者の為に工夫したメニューや道具があり、すごく感動しました。



明和記念病院



大分東部病院

高校生の感想

作業療法士は、様々な場面で患者さんの日常生活での動作や心をサポートし、少しでも早く自宅に復帰できるようお手伝いをする仕事だとわかりました。私もそんな人の役に立てる作業療法士になりたいと思いました。



長門記念病院

受け入れ施設の感想

- 参加した高校生は、将来どのような職業に就きたいという考えを持っており、こちらの説明に対しても真摯に聞いていました。また障害や病気のことでも少し勉強しており一日体験に対する参加意識の高さを感じました。
- 作業療法士の説明をしっかりと聞き、患者さんと直接かわる事で作業療法士の役割やリハの必要性を学んでいる様子でした。自ら気になることは質問するなど、有意義な時間を過ごせたのではないかと思います。
- 一人一人利用者としてしっかり向き合い、交流していました。普段、作業療法の仕事というものを学生は体験することがない為、事業を受け入れて、説明・体験してもらえて良かったと思います。
- 作業療法士がどんなことをするのか分からないと話す学生もいたので、身近な職業に感じてもらう良い機会になると感じました。



以心DEN心



後輩のみなさんへ

日田玖珠支部 支部長 **伊賀 信也**

(訪問看護ステーション いわさと)



平成9年資格取得後、就職したときはほとんど一人職場でした。その頃の私は、研修会などへの参加の必要性は感じていたものの、忙しさや地理的なこと、一人での参加に不安があることなどを言い訳に、なにもせず現状に甘えていたと思います。

数年間そのような状況が続き、思いがけず協会活動にかかわることになりました。経験年数などから仕方ないかといった、消極的な思いの中で始めたのが本当のところでした。しかし、いろんな研修会に参加することで知り合いも増え、参加することに何のためらいもなくなっていました。日常の悩みを解決するようなヒントが見つかり、最新の情報を知ることができるだけでなく、参加者とも同じ作業療法士としての仲間意識が高まります。専門職である私たちは、現状に甘えず、常に自己研鑽していく必要と責任があります。「自分で勉強します」といってもなかなか難しく、モチベーションを維持するのは想像以上に難しい。資格取得後、いかに自己研鑽してきたかで数年後には大きな差となって現れてきます。

今、就職したばかりの頃の私と同じ状況になっている方には研修を含めた協会活動への参加を提案します。目的があつての参加が望ましいとは思いますが、悩んでいる時にいろんな刺激を受けるのもありじゃないでしょうか。協会活動はタイムリーに、分野別に、時代に添っていろんな情報を提供してくれます。これからは、協会から何かしてもらうのではなく、積極的に参加し、私たちが盛り上げていくことを考えた方が楽しいと思いませんか。

協会活動って面白い、そう思うまで私はかなりの年数を要しました。実にもったいなかったです。そう思っている私は今、後輩達にこのことを伝えたいと思い取りあげさせていただきます。

活動報告 2015年7月▶2015年10月

生活行為向上マネジメント研修会

テーマ：「生活行為向上マネジメント 基礎研修会」

日 時：平成27年7月12日(日) 9:30～17:00

場 所：大分県消費生活・男女共同参画プラザ アイネス

講 師：有村 正弘

(活きがい発電所／代表取締役／作業療法士)

内 容：①講義(生活行為向上マネジメント概論)

②演習(個人ワーク・グループワーク)

現職者共通研修Ⅲ

日 時：平成27年8月20日(木) 19:30～21:30

場 所：中津文化会館

内 容：事例報告と事例研究

講 師：岩崎 伸一郎(中津支部長／いずみの園)

第33回全体研修会

テーマ：「いざ認知症支援の最前線へ

～県内の認知症初期集中支援の今～」

日 時：平成27年8月23日(日) 10:00～15:00

場 所：大分県消費生活 男女共同参画プラザ アイネス

内 容：県内の認知症初期集中支援チームの動向および

臼杵市の取り組みについて

① 講演「認知症の方に対する地域包括の取り組み

～臼杵市の今～」

講師：石井 義恭

(地域包括支援センター コスモス センター長)

② 講演「大分県の認知症初期集中支援チームの動向」

講師：吉田 知可(大分県福祉保健部 高齢者福祉課)

③ 事例報告

作業療法フェスタ2015

日 時：平成27年8月30日(日) 10:00～15:00

場 所：イオン パークプレイス大分店

内 容：① うちわ作り

② 作業療法クイズ

③ 福祉用具体験

④ めじろん元気アップ体操

現職者共通研修Ⅳ

日 時：平成27年9月6日(日) 9:30～12:40

場 所：ホルトホール大分

内 容：① 作業療法の可能性

講師：後藤 英子

(常務理事／大分リハビリテーション専門学校)

② 日本および世界の作業療法の動向

講師：大田 繁(高田病院)

生活行為向上マネジメント基礎研修会

日 時：平成27年9月17日(木) 19:30～21:00

場 所：ホルトホール大分

講 師：大田 繁(高田病院)

内 容：生活行為向上マネジメントの基礎研修

現職者共通研修Ⅱ

日 時：平成27年9月24日(木) 19:30～21:00

場 所：藤華医療技術専門学校

講 師：中村 雅之(大野支部長／ニコニコ銘水苑)

内 容：保健・医療・福祉と地域支援

現職者選択研修(身体障害領域)

日 時：平成27年9月27日(日) 9:30～16:40

場 所：大分岡病院 サイバーナイフ棟

内 容：① 生活不活発病(廃用症候群)の改善と

予防にむけた作業療法

講師：平野 政治(常務理事/明和記念病院)

② 心疾患を有する対象者への作業療法

講師：真田 康孝(南山園)

③ 転倒骨折による作業療法

講師：石田 聡(大分三愛メディカルセンター)

④ 脳血管障害に対する作業療法

講師：矢野 高正

(財務部長／別府リハビリテーションセンター)

現職者共通研修Ⅴ【事例検討】

日 時：平成27年10月4日(日) 9:30～12:40

場 所：大分リハビリテーション専門学校

内 容：① 口述発表形式の事例報告を聴講

② 事例や内容についての検討会(質疑応答)



公益社団法人大分県作業療法協会
イメージキャラクター紹介

おってい

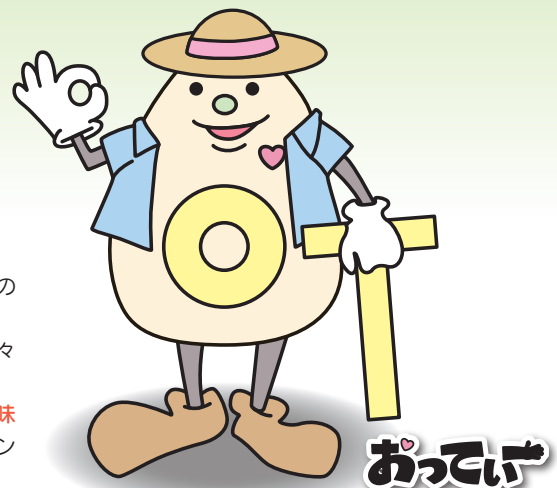
■コンセプト

大分県といえば「おんせん県おいた」、温泉といえば「温泉卵」。
キャラクターモチーフを「卵」としたのは、県の特徴のみを表現したもの
ではありません。

卵は、生でも半熟でも完熟でもそれぞれの味わいがあります。そして様々
な料理にやわらかな味わいを与える特性を持っています。

この卵の特徴と、『元気な人も、病気や怪我をおった人もそれぞれの味
わいや豊かな個性、強みがある』という作業療法の思考と重ね、デザイン
しました。

丸い体は、作業療法の優しい雰囲気が出るように。体と杖で作業療法
『OT: Occupational Therapy』を表現しています。



原画作成者：神谷輝子(長門記念病院)



第19回 大分県作業療法学会

日時 **2016.1/24日 9:35～**

会場 **ホルトホール大分 大会議室 301,302,303 会議室**
〒870-0839 大分県大分市金池南一丁目5番1号

特別講演

**地域包括ケアの実現に向けて
～作業療法士への期待～**

〈講師〉村井 千賀氏
厚生労働省 老健局 老人保健課 課長補佐 作業療法士

～テーマ～
地域の「力」

地域で必要とされる
作業療法士になるために

ワークショップ **生活行為向上マネジメント実践編**
〈講師〉佐藤 友美氏 湯布院病院 作業療法士

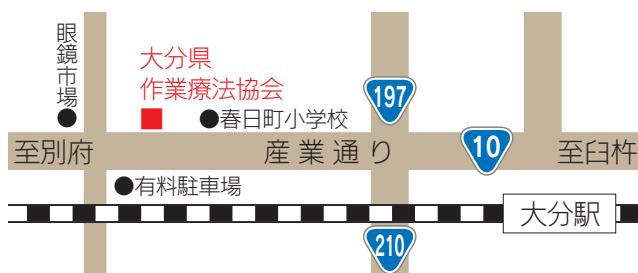
一般演題 **20演題（予定）演題募集中** 詳しくは裏面・ホームページにてご確認ください。

抄録締め切り／平成27年10月16日（金） スライドデータ締め切り／平成27年12月18日（金）

（公社）大分県作業療法協会
お問い合わせ先 》大分市西春日町3-2 TEL 097-547-8662 FAX 097-547-8663
<http://www.oita-ot.com/> **大分県 作業療法 検索**




リハビリテーションのことや、作業療法
のことで分からなかったり、お困りのこ
とがありましたら、右記までご連絡くだ
さい。



公益社団法人 **大分県作業療法協会**
〒870-0038 大分県大分市西春日町3-2 大分県作業療法協会ビル
TEL:097-547-8662 FAX:097-547-8663
<http://www.oita-ot.com>